

- 問1 アメリカ合衆国の中央部に広がる乾燥した地域では、上空から見ると巨大な円形の耕作地が数多く並んでいる様子が確認できます。このような景観が作られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 斜面の侵食を防ぐために等高線に沿って耕作を行っているため
 2. 360度回転する散水機を用いた大規模な灌漑を行っているため
 3. 山地の斜面を階段状に切り開いて土地を有効活用しているため
 4. 円形の移動式フェンスを用いて家畜の放牧範囲を管理しているため
- 問2 アメリカ合衆国において、北緯37度付近を境とした南側の地域を指し、温暖な気候を背景に先端技術産業や航空宇宙産業が急速に発展した地域を何と呼びますか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. コーンベルト
 2. シリコンバレー
 3. サンベルト
 4. フロストベルト
- 問3 カナダの首都オタワにおいて、公的機関の看板や道路標識などで英語とフランス語が「二言語併記」されている理由として、歴史的・文化的な背景から説明したものととして正しいものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 先住民族の独自の言語と、19世紀以降に移住したアジア系住民の言語を統一して公用語化したため
 2. アメリカ合衆国の公用語である英語と、隣国メキシコの公用語であるスペイン語を共通語として採用しているため
 3. 16世紀以来のフランスによる進出と、その後のイギリス系住民の移住により、両方の文化圏が形成された歴史を尊重するため
 4. ヨーロッパ連合（EU）の加盟国と同様に、多言語を公用語とする立憲君主制の国家連合を形成しているため
- 問4 アメリカ合衆国のサンベルトにおいて、1970年代から工業が急速に発展した理由を説明した文として、適切なものを選んでください。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
1. 温暖な気候や安価な労働力を求めて、先端技術産業が北部から移転・進出したため。
 2. 綿花栽培などのプランテーション農業が衰退し、跡地がすべて牧場になったため。
 3. 五大湖の水運とアパラチア山脈の石炭資源を組み合わせた重工業が成長したため。
 4. 政府が北緯37度以南への居住を法律で強制し、労働力を確保したため。
- 問5 アメリカ合衆国の農業において、降水量や気温、地形といった各地域の自然環境に合わせて、その土地に最も適した農作物を栽培する仕組みを何といいますか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. モノカルチャー経済
 2. 適地適作
 3. 二毛作
 4. 地産地消
- 問6 アメリカ合衆国の内陸部に広がる降水量の少ない地域において、地下水などをくみ上げて農地に人工的に水を供給し、大規模な小麦栽培などを可能にしている仕組みを何と呼びますか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 焼畑農業
 2. プランテーション
 3. 二毛作
 4. かんがい
- 問7 シリコンバレーにおいて、情報通信技術（ICT）産業が高度に集積している背景や理由として、適切なものはどれですか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. メキシコ国境に近く、工場で働くための安価な労働力を大量に確保できるため。
 2. 内陸部で産出される鉄鉱石や石炭を、水上交通を利用して安く大量に運搬できるため。
 3. 大学などの研究機関との連携が容易で、高度な知識を持つ人材や新しい情報を得やすいため。
 4. 連邦政府が、この地域を重化学工業の拠点として大規模な国営工場を建設したため。
- 問8 ある統計資料において、日本からアメリカ合衆国への輸出割合が20.2%で第1位となっている背景として、最も関連の深い事象はどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本とアメリカ合衆国は陸地で国境を接しており、トラックなどによる輸送コストが非常に低く抑えられているため。
 2. 日本にとってアメリカ合衆国は、自動車などの工業製品の主要な市場となっており、長年にわたり経済的な結びつきが深いため。
 3. 日本は環太平洋地域のすべての国に対して、一律に20%以上の輸出を行うことが国際的な協定で義務付けられているため。
 4. アメリカ合衆国の輸出総額が世界第1位であり、世界中のすべての国にとって最大の輸出相手国となっているため。
- 問9 2020年の主要国の貿易状況について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. アメリカ合衆国とフランスでは、輸入総額の10%以上を原油が占めており、エネルギーの輸入依存が極めて高い。
 2. インドは医薬品の輸出が盛んであり、その輸出額は国内で需要の高い金の輸入額を上回っている。
 3. フランスとアメリカ合衆国は、ともに輸出総額に占める自動車の割合よりも、輸入総額に占める自動車の割合の方が高い。
 4. フランスとアメリカ合衆国は、工業が発達しているため、ともに自動車の輸出額が輸入額を大きく上回っている。
- 問10 2022年における世界の小麦生産量は約8億1138万トン、輸出量は約1億9097万トンでした。この統計において、アメリカ合衆国が世界全体の生産量に占める割合は5.5パーセントですが、世界全体の輸出量に占める割合は11.0パーセントに達しています。この数値から読み取れる、アメリカ合衆国の農業の特徴として適切なものはどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
1. 生産量に占める輸出量の割合が高く、世界の小麦供給において重要な役割を果たしている。
 2. 国内での小麦消費量が非常に多いため、生産量のほとんどが輸出に回されない構造になっている。
 3. 世界全体の生産量の30パーセント以上を1国で占めており、生産量と輸出量の割合が一致している。
 4. ASEAN（東南アジア諸国連合）諸国への輸出に特化しており、世界全体の輸出シェアは1パーセント未満である。
- 問11 航空機の製造において、イギリスがエンジンや主翼を、ドイツやスペインが胴体や尾翼などの部品をそれぞれ分担して製造し、最終的にフランスの工場へ集めて組み立てを行うといった生産形態が見られます。このように、高度な技術や莫大な費用を要する製品を生産する際、複数の国が役割を分担して協力する仕組みを何といいますか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 輸入代替工業
 2. 国際分業
 3. 地産地消
 4. 知識集約型産業
- 問12 アメリカ合衆国とブラジルが、世界の大豆輸出量の合計で7割以上という極めて高いシェアを維持できている背景として、共通する地理的・経済的要因を説明したものをを選んでください。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. アジア向けの食用大豆に特化し、小規模な農地で手間をかけた有機栽培を行っているため。
 2. 降水量の少ない砂漠地帯において、最新の滴下かんがい技術を駆使して栽培しているため。
 3. 生産された大豆のほとんどを自国内で消費し、余った分だけを輸出する政策をとっているため。
 4. 広大な平原や開拓地を活用し、大型機械を用いた大規模な企業的農業を行っているため。